

コード	501040703
記入日	H25.5.15

課コード	124
課名	学校教育課
課長名	濱崎 健也
担当者	青山 一信

事業評価表【事後評価】

作成年度	平成 25 年度
------	----------

評価対象事業名称	小学校運動場改修事業
----------	------------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 23 年度 ~ 平成 24 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	5	政策名称	しまの誇り・文化の育成	款コード	10
施策コード	501	施策名称	学校教育の充実	項コード	2
基本事業コード	50104	基本事業名称	教育環境の整備	目コード	1
事務事業コード	5010407	事務事業名称	小学校施設整備事業費	細目コード	966
関連計画		法令・条例規則等	学校施設環境改善交付金事業		

計画 (PLAN)

※単年度事業及び単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1)	小学校	(対象指標1)	1校			
(対象2)	小学校児童数	(対象指標2)	143人口(H24.5.1現在)			
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
・全体計画 →魚目小学校グラウンド整備 6,053㎡ →国庫補助内示の影響により平成24年度へ繰越事業となった。	・平成24年度実績 →魚目小学校グラウンド整備 5,595㎡ (芝1,319㎡、クレー舗装4,276㎡)	グラウンド整備面積	5,595㎡	100%	実施整備面積÷ 計画整備面積	平成24年度
		グラウンド整備面積	5,595㎡	100%		平成24年度
		① (達成率分析)	平成23年度国庫補助内示の影響により、平成24年度への繰越事業となり、完成が1年遅れた。			
		② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
・子どもたちの最も身近にある学校の屋外環境を様々な体験活動の場として活用し、たくましく心豊かな子どもたちを育成するため、屋外教育環境の整備充実を図る。		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		教育環境の充実	-	-	-	平成24年度
		① (達成率分析)	完成が1年遅れたが、本事業の完成により教育環境の充実が図られた。			
		② (達成率分析)				

実施 (DO)

※単年度事業及び単年度繰返事業については、評価実績年度及び全体計画欄のみ記載する。

	単位	全体計画 H 23 ~ H 24		23年度以前	24年度		
		計画	実績	実績	計画	実績	
活動指標	①	㎡	6,053	5,595	-	6,053	5,595
	②						
成果指標	①						
	②						
総事業費 C (A+B)	千円	30,700	29,782		30,700	29,782	
直接事業費 A	千円	30,000	29,082		30,000	29,082	
人件費 B	千円	700	700		700	700	
内訳	従事職員数	人	0.1	0.1		0.1	0.1
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
	国補助金	千円	9,896	9,946		9,896	9,946
	県補助金	千円					
	起債	千円	19,000	18,100		19,000	18,100
財源内訳	その他	千円					
	一般財源	千円	1,804	1,736		1,804	1,736

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥 当 性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズを考慮しても、事業を行う必要がありましたか。	● はい いいえ	理 由	地域住民からの改善要望があったものである。また、当該グラウンドは恒常的に風の影響を受けやすいグラウンドであるため、表層土が飛ばされ、下層の碎石が露出し、児童の安全な屋外教育環境とはかけ離れ、早急な整備が待たれていた。
	有 効 性	・事業の目的は達成されましたか。	● はい いいえ	理 由	今回の工事により充分達成されたが、近隣住家への表層土の飛散影響については状況を充分見守る必要がある。
	有 効 性	・より少ない費用や業務量で事業や活動が効率的に実施できましたか。	● はい いいえ	理 由	児童の良好な屋外教育環境の保全に鑑みれば、事業は効率的に実施できたものとする。

改善 (ACTION)

1 次 評 価	○今後の関連事業に対する改善点（事業方法の検証・事業の成果等の検証を踏まえて、今後の関連事業等に対する改善点）	
	<p>整備後も、風の影響でどのようにグラウンドコンディションを維持できるのか、通年としての状況を見守る必要がある。また、グラウンドコンディションを維持するためには、風の強い日に表層土をできるだけ飛ばされないよう人的投入による作業として水撒きなどが求められ、冬季にはその作業頻度が高くなることから、十分な対応が実現できるのかどうか懸念される。</p>	
1 次 評 価	○目的が達成されていない場合の課題と改善策（目的が達成されていない場合、また、課題が継続している場合の改善策）	
	<p>目的は達成された。</p>	
2 次 評 価	<p>本事業の完成により、教育環境の充実は図られ目的は達成されたと判断するが、周辺住家への表層土の飛散の影響については、今後も引き続き状況把握に努め、十分に対応すること。</p>	

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。